



平成 28 年 1 月 13 日

各 位

会社名 イワキ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岩城 修  
(コード番号 8095 東証第一部)  
問合せ先 取締役経理財務部長 熱海正昭  
(TEL. 03-3279-0481)

(訂正)「平成 26 年 11 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 15 日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 28 年 1 月 13 日付「過年度の決算短信等の訂正並びに有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



## 平成26年11月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月15日

上場会社名 イワキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8095 URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 熱海 正昭 TEL 03-3279-0481  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績（平成25年12月1日～平成26年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	39,926	3.1	591	△25.7	665	△25.6	270	△51.0
25年11月期第3四半期	38,743	0.9	795	△2.2	895	△0.5	552	25.4

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 247百万円 (△71.6%) 25年11月期第3四半期 871百万円 (62.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	<u>8.02</u>	—
25年11月期第3四半期	<u>16.36</u>	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第3四半期	<u>37,749</u>	<u>16,787</u>	<u>44.5</u>	<u>497.12</u>
25年11月期	<u>37,569</u>	<u>16,772</u>	<u>44.6</u>	<u>496.55</u>

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 16,787百万円 25年11月期 16,772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年11月期	—	4.50	—	—	—
26年11月期 (予想)	—	—	—	3.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

26年11月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当3円00銭 記念配当1円50銭 (創業100周年記念配当)

### 3. 平成26年11月期の連結業績予想（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	1.0	1,000	△0.8	1,100	△3.9	650	△12.7	19.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）メルテックスアジアタイランド社、除外 1社（社名）  
詳細につきましては、3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間に  
おける重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年11月期3Q	34,147,737株	25年11月期	34,147,737株
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	377,855株	25年11月期	370,322株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年11月期3Q	33,774,063株	25年11月期3Q	33,782,672株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年12月1日～平成26年8月31日）におけるわが国経済は、政府、日銀による経済政策や金融緩和策などを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、円安などによる輸入原材料価格の高騰、消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、グループ中期経営計画に基づき、海外サプライヤーとの連携強化、自社企画による商品の開発、安定供給体制確保のための設備投資など、多様化・高度化するお客様のニーズへの対応力強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は399億2千6百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は5億9千1百万円（同25.7%減）、経常利益は6億6千5百万円（同25.6%減）、四半期純利益は2億7千万円（同51.0%減）となりました。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

#### 【医薬品事業】

医療用医薬品は、後発医薬品使用促進策の追い風のなか、ジェネリック医薬品の安定供給に向けた体制整備に努めるとともに、医療機関・調剤薬局への積極的な情報提供活動を展開いたしました。その結果、主力の外皮用剤が大幅に伸長し、緩下剤、受託品も好調に推移いたしました。

一般用医薬品は、ドラッグストア関連商品における新規仕入先の開拓、新規取扱商品の品揃えに努めました。また、消費税増税前の駆け込み需要の反動による消費の低迷、天候不順による小売店来客数の減少などの影響により、全体としては低調に推移いたしました。自社企画によるPB商品の上市などで一定の成果が見られました。

この結果、当事業全体の売上高は128億1千万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1億4千5百万円（同43.2%増）となりました。

#### 【医薬品原料・化粧品原料事業】

医療用医薬品原料は、ジェネリック医薬品メーカーの医薬品原料複数社購買への提案に引き続き注力いたしました。その結果、合成抗菌剤原料、鎮痛剤原料は伸長いたしました。しかしながら、解熱鎮痛剤原料、抗アレルギー剤原料、血圧降下剤原料は低調に推移いたしました。

一般用医薬品原料は、主力の血管収縮剤原料の海外シェア獲得に注力した結果、順調に推移いたしました。一方、ビタミン剤原料、解熱鎮痛剤原料は販売拡大に注力いたしました。一方、低調に推移いたしました。

化粧品原料は、新規顧客の開拓、新規原料の提案強化、主力原料の販売拡大など積極的な営業活動に注力いたしました。その結果、主力原料の新規採用もあり堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は124億9千4百万円（同6.9%増）、営業利益は7億2千3百万円（同7.8%減）となりました。

#### 【化成品事業】

表面処理薬品は、プリント配線板向け薬品の開発に取り組むとともに海外製造拠点における生産品目・量の拡大、韓国販売拠点の整備、東南アジアにおける営業活動の強化に努めました。その結果、国内ではプリント配線板向け薬品およびチップ部品向け薬品が堅調に推移いたしました。一方、海外ではチップ部品向け薬品は堅調に推移いたしました。一方、プリント配線板向け薬品、その他の電子部品向け薬品は低調に推移いたしました。輸入品を中心とした化学品原料は、酢酸類の新規顧客獲得を中心に営業活動を展開いたしました。その結果、酢酸類は堅調に推移いたしました。

しかしながら、重要性が増した在外子会社を新たに連結の範囲に含めた結果、当事業全体の売上高は59億1千1百万円（同0.9%増）、営業損失は4千1百万円（前年同期は4千3百万円の営業利益）となりました。

## 【食品原料・機能性食品事業】

食品原料は、輸入農産加工品の品揃え拡充と新規開拓、関連会社製品の新規採用、海外販路の開拓に注力いたしました。その結果、農産加工品・関連会社の原料受託が伸長いたしました。輸入原料価格高騰の影響などにより、全体としては低調に推移いたしました。

サプリメント原料は、通信販売会社をはじめ製造受託会社などへ健康維持・美容・エイジングケアを訴求した原料および自社原料の新規採用拡大に努めました。しかしながら、自社原料および受託加工品の伸び悩みもあり、全体としては低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は58億6千1百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は2億2千9百万円（同15.2%減）となりました。

## 【その他の事業】

当事業全体の売上高は28億4千7百万円（同0.9%減）、営業損失は5千8百万円（前年同期は5千万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産377億4千9百万円（前連結会計年度末比1億7千9百万円増）、負債合計209億6千1百万円（同1億6千3百万円増）、純資産は167億8千7百万円（同1千5百万円増）となりました。

総資産の増加の主な理由は、受取手形及び売掛金の減少9億7千1百万円、電子記録債権の増加8億7千4百万円、商品及び製品の減少5千8百万円、仕掛品の増加3億3千3百万円によるものです。負債合計の増加の主な理由は、支払手形及び買掛金の減少3億7千5百万円、短期借入金の増加1億7千2百万円、長期借入金の増加4億2百万円によるものです。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の減少4千3百万円、為替換算調整勘定の増加7千1百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期の業績予想につきましては、平成26年7月7日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（特定子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間より、メルテックスアジアタイランド社の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（特定子会社以外の子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間より、台湾メルテックス社、メルテックスアジアパシフィック社、美緑達科技（天津）有限公司、メルテックススコリア社の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,726,527	3,762,902
受取手形及び売掛金	15,113,510	14,142,079
電子記録債権	695,784	1,570,239
商品及び製品	3,194,894	3,136,387
仕掛品	781,613	1,114,771
原材料及び貯蔵品	594,508	707,114
その他	864,020	958,041
貸倒引当金	△45,389	△51,379
流動資産合計	<u>24,925,469</u>	<u>25,340,155</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,026,049	8,360,158
減価償却累計額	△5,428,804	△5,579,951
建物及び構築物(純額)	<u>2,597,245</u>	<u>2,780,207</u>
機械装置及び運搬具	7,339,463	7,684,942
減価償却累計額	△6,676,757	△6,818,957
機械装置及び運搬具(純額)	<u>662,705</u>	<u>865,984</u>
土地	3,412,916	3,538,800
その他	2,604,633	2,807,253
減価償却累計額	△1,872,015	△2,008,452
その他(純額)	<u>732,618</u>	<u>798,800</u>
有形固定資産合計	<u>7,405,485</u>	<u>7,983,792</u>
無形固定資産	351,726	330,657
投資その他の資産		
投資有価証券	3,644,458	2,950,652
その他	<u>1,483,291</u>	<u>1,354,055</u>
貸倒引当金	<u>△240,459</u>	<u>△210,229</u>
投資その他の資産合計	<u>4,887,290</u>	<u>4,094,478</u>
固定資産合計	<u>12,644,502</u>	<u>12,408,928</u>
資産合計	<u>37,569,971</u>	<u>37,749,083</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,413,287	9,037,930
電子記録債務	2,816,336	2,744,271
短期借入金	2,658,000	2,830,000
未払費用	1,268,628	899,344
未払法人税等	237,551	176,865
その他	666,096	1,067,625
流動負債合計	<u>17,059,899</u>	<u>16,756,037</u>
固定負債		
長期借入金	1,157,500	1,560,000
退職給付引当金	1,655,056	1,681,044
その他	925,337	964,263
固定負債合計	<u>3,737,894</u>	<u>4,205,307</u>
負債合計	<u>20,797,793</u>	<u>20,961,344</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,572,382	2,572,382
資本剰余金	4,206,965	4,206,965
利益剰余金	<u>9,357,952</u>	<u>9,314,437</u>
自己株式	<u>△82,713</u>	<u>△84,291</u>
株主資本合計	<u>16,054,587</u>	<u>16,009,494</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	710,074	713,938
繰延ヘッジ損益	14,993	589
為替換算調整勘定	<u>△7,476</u>	<u>63,716</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>717,590</u>	<u>778,244</u>
純資産合計	<u>16,772,177</u>	<u>16,787,738</u>
負債純資産合計	<u>37,569,971</u>	<u>37,749,083</u>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	38,743,916	39,926,071
売上原価	30,637,128	31,692,327
売上総利益	8,106,788	8,233,744
販売費及び一般管理費	7,310,899	7,642,737
営業利益	795,889	591,007
営業外収益		
受取利息	4,505	4,327
受取配当金	35,888	38,430
受取賃貸料	62,298	65,103
受託研究収入	49,638	10,902
その他	61,101	57,084
営業外収益合計	213,431	175,847
営業外費用		
支払利息	32,133	33,456
持分法による投資損失	8,552	107
賃借料	32,850	34,821
シンジケートローン手数料	22,513	22,142
その他	17,915	10,405
営業外費用合計	113,964	100,933
経常利益	895,356	665,921
特別利益		
投資有価証券売却益	1,886	—
特別利益合計	1,886	—
特別損失		
固定資産売却損	—	4,031
固定資産処分損	16,476	12,259
特別損失合計	16,476	16,290
税金等調整前四半期純利益	880,766	649,630
法人税、住民税及び事業税	352,693	380,062
法人税等調整額	△24,699	△1,239
法人税等合計	327,994	378,822
少数株主損益調整前四半期純利益	552,772	270,808
四半期純利益	552,772	270,808

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>552,772</u>	<u>270,808</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	277,553	3,715
繰延ヘッジ損益	272	△14,403
為替換算調整勘定	40,232	△12,601
持分法適用会社に対する持分相当額	957	149
その他の包括利益合計	<u>319,015</u>	<u>△23,140</u>
四半期包括利益	<u>871,787</u>	<u>247,667</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>871,787</u>	<u>247,667</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原料・化粧品原料	化成品	食品原料・機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	12,632,818	11,683,112	5,861,559	5,692,599	35,870,091	2,873,825	38,743,916	—	38,743,916
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	31	348,846	—	—	348,878	9,043	357,922	△357,922	—
計	12,632,850	12,031,959	5,861,559	5,692,599	36,218,970	2,882,869	39,101,839	△357,922	38,743,916
セグメント利益	101,572	785,284	43,359	270,628	1,200,844	50,214	1,251,059	△455,169	795,889

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△455,169千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△453,329千円および棚卸資産の調整額△1,840千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年12月1日 至平成26年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原料・ 化粧品原料	化成品	食品原料・ 機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	12,810,818	12,494,594	5,911,487	5,861,704	37,078,605	2,847,466	39,926,071	—	39,926,071
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	37	415,797	—	—	415,834	15,329	431,163	△431,163	—
計	12,810,855	12,910,392	5,911,487	5,861,704	37,494,440	2,862,795	40,357,235	△431,163	39,926,071
セグメント利益 又は損失(△)	145,421	723,757	△41,023	229,582	1,057,739	△58,140	999,598	△408,591	591,007

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△408,591千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△402,189千円および棚卸資産の調整額△6,401千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。